



人権教育だより

京丹後市立大宮中学校

令和5年1月25日

No.13



令和4年度 大宮中学校

人権標語

グランプリ

3学期の人権学習では、今までの学習のまとめとして「人権標語」を創作しました。その後、作品を学級で交流し合い、投票をする「我がクラスの人権標語グランプリ」を開催しました。どの標語にも心がこもっており、それぞれの良さが表現されています。また、どの学級も温かい雰囲気の中、作品の交流ができました。なお、各学級の金・銀・銅作品は、作品展で校内掲示をします。

「我がクラスの人権標語グランプリ！」の様子

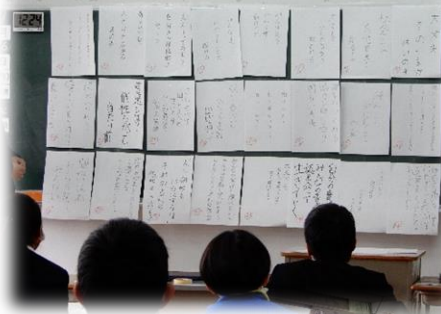
1

一人ひとりの
標語作成



2

清書・選定
無記名の標語から
共感するものを探
しています

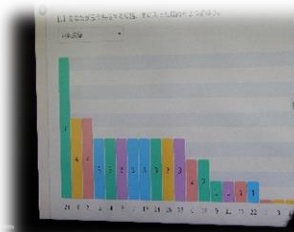


3

みんなの見守る中
投票・開票



ロイロで集計
2の2



1年1組



ありがとうは人を笑顔にする

魔法の言葉

伴 蒼太

・些細なことでもありがとうと言いたくなるような標語で、「これからは些細なことでも「ありがとう」という言葉を使っていきたいと思いました。」

・魔法という言葉を使って「ありがとう」の大切さを教えられるような気がした。そして、「人を笑顔にする」ということは平等社会にもつながると思った。



個性は一人一人の宝物

廣野 由芽

男の子らしく 女の子らしく

一番は自分らしく生きること

松本 明依



障害者を差別しない

皆と同じ人間だから

白敷 瑠愛

みんな違う それが当たり前 そしてそれは 一人一人の輝いた個性なんだ

荒田 藍璃

人の心 大切にしよう 思いやり

熊木 詩歩



言語や肌色は関係ない
あなたの笑顔は 国境の壁さえ
越えられる

吉田 明規

1年2組



笑顔は太陽 涙は水
笑顔と涙で 花が咲く

木場 莉音

一人じゃない みんなで助け合おう
その行動が 笑顔の花のたね

谷口 紗良

ふざけても 相手の気持ち 考えよう

嶋崎 桃花

さあ行こう 一人一人が輝く 世界

今下 穂乃果

なくしていいこと

いじめや差別 少しずつ

三木 創太



1年3組

「大丈夫?」

その一言で 救われた

森田 雄允

・勇気のある発言が大切だということがよく伝わってくる。
・一言声をかけるだけで、人を助けることもできるという考えがいい。



見つけよう 心のSOS

戸波 宗士朗

だれだって

個性があるから 輝ける

田中 佳依

考えよう その一言が 後悔へ

笠次 瑛仁

段差はすべて 無くせなくても
心のバリアは 撤去可能

糸井 凜々子

